

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 03 07	中期総合計画主要施策番号	2-04	担当課	部・課	林務部県産材利用推進室	
事業名	間伐材安定供給加速化支援事業 (森林整備加速化・林業再生基金活用事業)				内 線	3273	
					E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~ H26	根拠法令等	森林整備加速化・林業再生事業費補助金実施要綱(国)、県産材供給体制整備事業補助金交付要綱(県)				
実施方法	県が林業事業体へ助成					国庫・ 県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的(必要性)	間伐材の安定取引協定等に基づく間伐材の運搬に係る経費や、間伐材の調達等に必要な資金に係る利子に対して支援する。
	対象	間伐材を生産・調達する林業事業体
	目指すべき姿	景気の動向による影響を受けにくい安定的な間伐材の流通を図るため、間伐材の生産者と加工者間の安定取引協定に基づく流通を促す。
	事業内容	・流通経費支援事業：間伐材生産地から県内の間伐材加工場へ直送される間伐材の運搬経費に対して支援 (補助率：【国】上限額1,000円/m3(50km～100km),2,000円/m3(100km～),2年目は半額) ・間伐材安定供給コスト支援事業：チップやペレット等、燃料用間伐材の搬出、運搬等に係る経費に対して支援 (補助率：【国】1,000円/m3,2年目は半額) ・利子助成：間伐材の生産、引取、加工等のために借入れる資金の利子に対して助成 (補助率：【国】上限利子3%,借入限度額5,000万円)

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	11,635	7,841	14,500	・補助金：7,841千円
	決算額 (B)	千円	10,641	7,841		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	0	0	0	
	概算人件費	人	0.05	0.05	0.05	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	11,057	8,254	14,913	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	助成事業体数(活)	社	11	12	5	・間伐材の製品利用のための運搬費補助：6事業体 ・間伐材を燃料として利用するための運搬費補助：4事業体 ・間伐材調達のための借入金の利子助成：2事業体
	支援間伐材材積(成)	千m3	19	13	10	
	地域材利用量(成)	千m3	181	187		
	<効率指標(単位当たりコスト等)>	千円/社	1,005	688	2,983	(効率指標算出式) 概算事業費/助成事業体数

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	事業2年目のH23年度は、間伐材の運搬経費の補助等について、12事業体へ助成する。	・12事業体に対し助成し、協定により約13千m ³ の間伐材を搬出し利用され、県産材安定供給の基盤構築が図られた。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・運搬費補助等の要望が多い。 ・国の制度改正により、搬出間伐の実施と、それに伴う間伐材の搬出利用が急務となるなど、造林事業の体系が大きく変更されたため、当面は県の施策として主導していかなければいけない。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	県下の林業事業体(480社)に訪問して、木材の生産、流通等の調査を実施した中で、木材の運搬や調達資金に対する補助等の要望が多く出ているため、当該取組は続ける必要がある。そのために、財源の問題も含め、今後どのような形で取り組み、間伐材の利用促進を図るか検討していく必要がある
	特記事項	